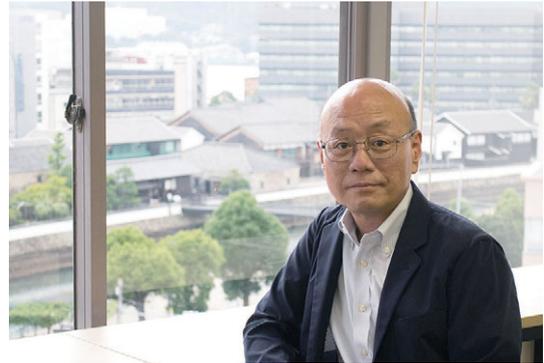


長崎でのIT-BCP拠点構築のパイオニアとして歩んだ10年を振り返って

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社
代表取締役社長 下條 治

1986年3月 日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社 入社
2008年6月 当社取締役執行役員
2012年4月 当社代表取締役(現任)



<沿革>

1967年3月に設立後システム開発事業を開始。1995年10月にIT関連のサポート&サービス事業を開始、1997年10月にはITソリューションのノウハウを活用した無人駐輪場関連のパーキングシステム事業を開始した。独立系システム・インテグレーターのパイオニアとして、2017年3月に創立50周年を迎えた。

2000年9月に日本証券業協会に店頭登録。現在は東京証券取引所JASDAQに上場。

2021年4月1日時点の当社の事業拠点は、本社(東京都品川区)、お台場オフィス(東京都江東区)、江東サービスセンター(東京都江東区)、福岡オフィス(福岡県福岡市)、小倉オフィス(福岡県北九州市)、長崎オフィス(長崎県長崎市)、及び五島オフィス(長崎県五島市)である。

■長崎オフィス設立10周年

2011年5月に開設した長崎オフィスも、今年5月で開設10周年を迎えました。6名でスタートしたこの事業は、近年ニアショア運用の新拠点として

のサービスもスタートし、現在のスタッフは100名を大きく超えるまでになりました。

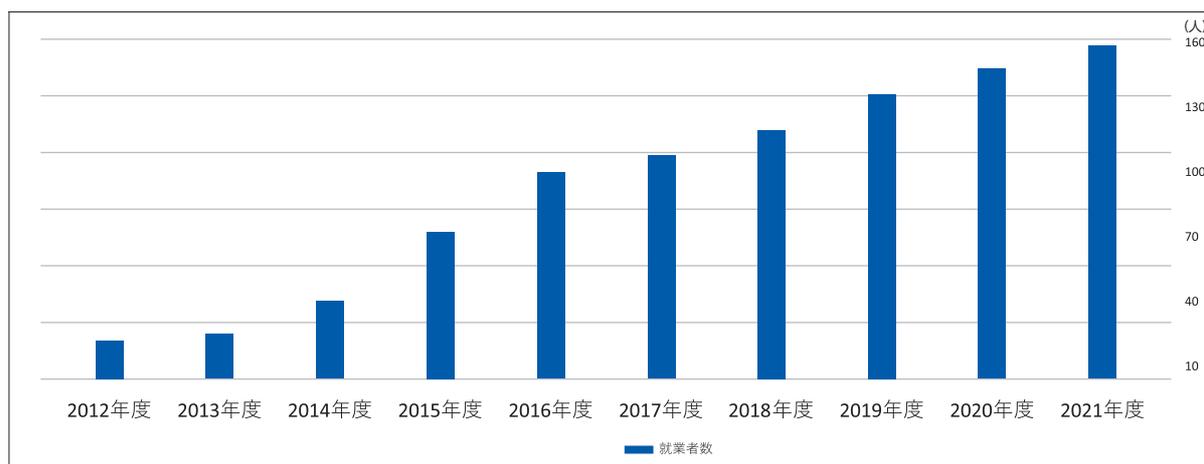
短期間で順調に成長を続けた長崎オフィスで

すが、この地に拠点を構えるきっかけとなったのは、実は思いがけないものでした。30年以上もの長期継続取引のある大手生命保険会社が東日本大震災を機に、BCP対策として地方拠点を設けるということで、同社のインフラサポート業務を担っていた当社も業務切り出しの為に“ついてきた”というのがこの地へ来たきっかけです。

東京で同社業務を行っていたメンバー10名でBCP拠点を上げた後、現地採用を行った5名と共に長崎オフィスがスタート致しました。2005年頃よりBCP対策については、メディアなどで取り上げられていたものの、2011年当時はBCP対策や地

方拠点の立上げ事例もまだ全国的にも少なく、1～2年かけて独自のノウハウを構築していきました。

その後、業務も軌道にのり、同社の「ヘルプデスク」の立上げにも従事し、開設3年で30名のスタッフを抱えるまでに至りました。さらに同社内での業務シェア拡大を順調に続け、生損保業界でのITサポート業務における独自のノウハウを確立。その後2019年以降に続々と長崎へ進出をしてきた生損保企業より、IT-BCP拠点立上げの先駆者として絶大な信頼を受け、次々と取引企業を増やし2021年について約160名のスタッフを抱えるまでに成長致しました。



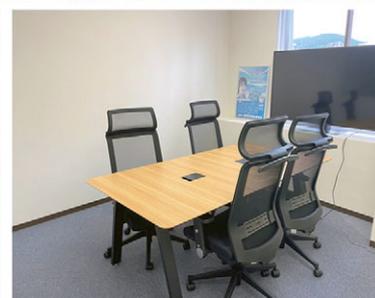
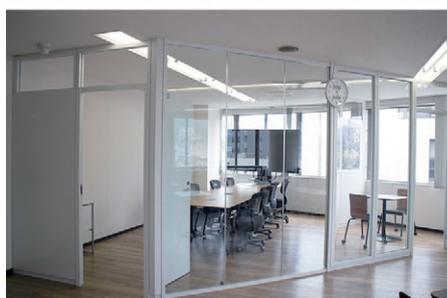
長崎オフィス就業者数

2012年度より就業者で5倍以上、売上で6倍と着実に成長を続けております

■長崎オフィス移転

業務拡大に伴い、長崎オフィスを江戸町にある「江戸町センタービル」へ移転。2021年7月1日より業務を開始致しました。2011年に長崎に進出して早10年、オフィス移転はその成果と自負してお

ります。今後も、既存業務の拡大や新たな顧客を獲得し、長崎のビジネス拡大を目指してさらなる活動を続けて行きたいと思っております。



2021年7月に移転した長崎オフィス。壁一面に広がる大きな窓が自慢の休憩ルームからは出島・稲佐山が一望できます

■ 事業紹介

冒頭でご案内しました、当社事業の3本柱の1つとなる「サービス&サポート事業」を長崎オフィスでは展開しております。「サービス&サポート事業」の業務としては、システムの障害対応、テクニカルサポート、サービスデスク、運用管理、そしてアウトソーシングまで、豊富な経験とノウハウを駆使して、お客様のIT業務全般を幅広くサポートする事業を展開しております。

当社の特徴として、豊富な実績で培ったノウハウ・迅速な対応力・柔軟なサービス力・包括的サポートなどを強みとし、当社がシステム構築を受託した顧客の保守・運用にとどまらず、他社が構築したシステムやアプリケーションの保守・運用を受

託しているのも自慢です。

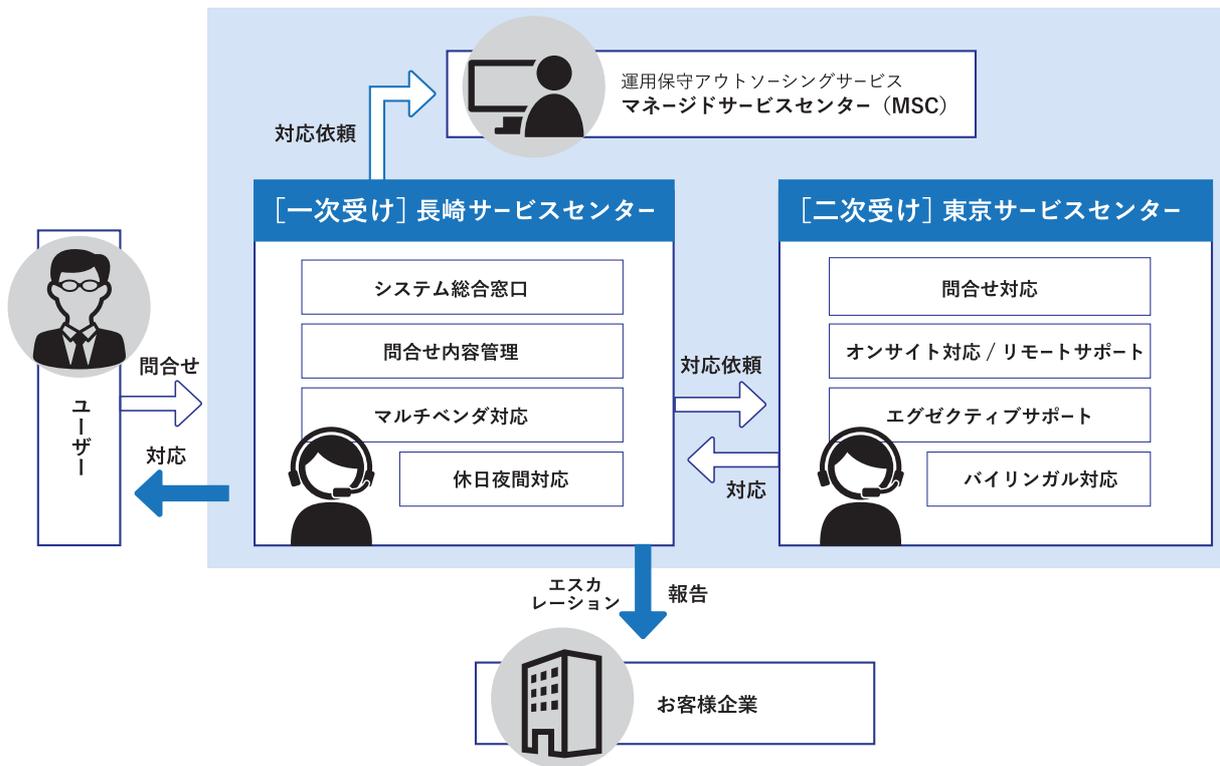
長崎オフィスではさらに、生損保業界のBCP拠点立上げの経験から同業界特有のアプリケーションのサポートを最も得意としており、リモートで行うヘルプデスクサポートやインフラサポートサービスと共に、顧客のもとでサポートを行うオンサイトサポートサービスも提供しています。顧客や社員など社内外からの問合せを受け技術サポートを行う長崎オフィスは、当社の顔として最前線で顧客の課題解決に取り組んでおります。

また、当社が長年に渡り蓄積してきた開発・保守・運用のノウハウを集約したサービスセンター「マネージドサービスセンター（以下「MSC」とい

う)」を東京・福岡・江東区に次いで、2018年4月に長崎にも開設。東京・長崎の2拠点のMSCで連携し、24時間・365日対応のリモート監視、サー

ビスデスク対応などによって、システムやアプリケーションの保守・運用に関するワンストップ・テクニカルサポートを実現しています。

ヘルプデスクサービス運用概要



東京・長崎の2拠点に「サービスセンター」を確保する事で、オン・オフサイト、ニアショア各種ロケーションを柔軟に組合せた「ハイブリット型サービスデスク」も提供。プロジェクトのサービスレベルに合わせて、拠点を選ぶ事で大幅な「コスト削減」も可能に。



24時間365日対応の長崎MSC(マネージドサービスセンター)



生損保業界のオペレーション業務を得意としています

■ 地方創生「五島オフィス開設」

当社では業務効率化などIT需要の拡大に応えるため、各地方拠点の活用を強化しています。

2020年4月には長崎県五島市福江島に「五島オフィス」を開設。離島での進学・就職による若者の転出増加等による、人口減少や高齢化加速の課題を受け、長崎県及び五島市と連携し地元就職を希望する新卒者を積極的に採用するなど、当地域における雇用創出やIT人材の育成等を通じた地方創生に貢献しています。



2019年4月に実施された立地協定調印式にて



■ 長崎大学実社会課題解決プロジェクトへの参画

2020年4月より長崎でも新卒採用を本格的に始動。そのご縁から長崎大学情報データ科学部が実施する「実社会課題解決プロジェクト」にも参画致します。市町村や企業が抱える本物の課題を、学生・大学と協働して解決を目指すプロジェクトということで、当社からは「坂の街の長崎で自転車を活用する方法。乗りません! 乗れません! を解決」というテーマを提起し、長崎県の「自転車に乗らない常識」を覆すという夢のようなプロジェクトに学生と一緒に本気で取り組んでみたいと思っております。もしかすると数年後には、長崎でも当たり前で自転車に乗るという文化が根付いているかもしれません。もしそうなっていたら、私達の活動が少なからず影響していたのかも…と思いでして頂けると幸いです。



画像資料提供: 長崎大学情報データ科学部

これまでの10年は当社サービスの基盤づくりに専念しておりましたが、これからの10年はさらに地方都市ならではの情報サービスに関わる課題解決に取り組み、地域の活性化に貢献できるよう取り組んでまいりたいと考えております。

日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社

本社：東京都品川区西五反田4-32-1

URL: <https://www.ncd.co.jp/>

長崎オフィス

長崎市江戸町6-5 江戸町センタービル6F

五島オフィス

五島市東浜町1-6-14 神田商会ビル2F



Nippon Computer Dynamics Co.,Ltd.